

人 チーム 制度



男性初の育児休業取得！ 2人の子どもを育てるイクメンをインタビュー

サンコーコンサルタント

今回ご紹介するのは、サンコーコンサルタント(株)の男性社員で初めて育児休業を取得した村田さん。

育児休業取得のきっかけや取得してみたの感想などをお聞きます。

プロフィール

氏名 : 村田 和則
所属 : 東日本支社 地質部
調査第二課
勤続年数 : 9年目

これまでの経歴について、簡単に教えてください。

大学時代は理学部地球科学科に所属し、構造地質学を学んでいました。地下構造を解明するための手法として、物理探査、特に反射法地震探査を勉強していました。入社後も物理探査を専門として地下構造の調査を行っています。

育児休業を取得したきっかけについて教えてください。

上司に第2子が生まれることを話したところ、「育児休業をとったら？」と言っていたのがきっかけでした。元々、第1子の娘が4月から幼稚園に通い始めることもあり、妻は里帰りをしないつもりでしたので、出産して退院するまでの少なくとも1週間くらいはお休みをもらいたいと考えていました。そんな中、思ってもみなかった上司からの一言に背中を押してもらった格好となりました。

また、近年国土交通省の総合評価落札方式の業務において、次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定)を受けた企業は加算評価を得られる方針が打ち出されました。その認定を受けるための会社目標の一つとして、“男性の育児休業取得者を1名以上”という項目があり、過去に男性の育児休業取得者がいなかったという点も育児休業を取るための後押しとなりました。

さらに、子どもが生まれる時期が5月ということで、仕事が落ち着いている時期でしたので、そういう意味では、私の場合、偶然にも育児休業を取得しやすい恵まれた状況だったと言えます。

いずれにせよ、先輩、上司、会社の皆さんの理解と協力があったからこそ取得できたと思いますので、本当に感謝しかありません。

休業期間中のお仕事は、どのように対応したのですか？

育児休業は1ヵ月取得しましたが、その間に仕事をしなくて済む様、先輩が配慮してくれたことと、取得したのが5月で、ちょうど仕事が落ち着いている時期でしたので、急な仕事の対応などもなく、あまり気にせず過ごすことが出来ました。

育児休業を取得してみて、何か変わったこと(気づいたこと)はありますか？

育児休業期間は二人の子どもとのふれあいの時間を多く持つことができ、妻ともゆっくり話をすることができました。妻が普段やっている家事や洗濯、料理などをすることで、妻への感謝の気持ちを改めて感じることが出来ました。また、娘の幼稚園の保護者参観や遠足にも行くことができ、娘との思い出を作ることが出来ました。ママ友にも、「育児休業を取れるなんて、いい会社ですね」なんて話をされました(笑)。

最後に、建コンで働く皆さんに伝えたいことはありますか？

子どもが生まれることは人生で何度とない特別なイベントです。もしチャンスがあれば、ぜひ多くの方々に育児休業を経験してもらい、子どもとの貴重な時間を過ごしてもらいたいと思います。

私の場合は上司の方からきっかけを与えていただきましたが、自分から勇気を出してまずは上司に相談してみたいかがでしょうか？案外協力してくれるかもしれません。

自分が上司になった時には部下の方へ育児休業の取得を進めてあげられるようになりたいと思いますし、そういった考えの方々が増えていくと良いなと願っています。

